



No. 599 附録

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都

文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

兵庫版 No.483

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
兵庫県本部

〒650-0022 神戸市

中央区元町通6丁目6-12

山本ビル 国民救援会内

TEL(078)351-0677

FAX(078)371-7376

励まし合い夢と希望をもって

6月30日迄の「会員拡大特別期間」を成功させよう!

治安維持法犠牲者国賠同盟 兵庫県本部副会長・組織部長 高山 立

5月1日のメーデー、3日の憲法集会は、署名も会員拡大も前進し、15日の国会請願に弾みをつけました。6月には、伊藤千代子上映運動が全県で多彩に取り組まれます。多くの団体、有志の方々と力を合わせて是非とも成功させましょう。そして組織強化拡大の力にしていきたいと思います。

情勢は、憲法9条をないがしろにする岸田政権のアメリカ追従大軍拡、経済無策、裏金問題、3つの衆議院補欠選挙での野党共闘の完勝―等々、私たちの不屈性の発揮で、前進できる大きな可能性と展望があります。

来年は同盟創立55周年。兵庫の大目標2千人会員の達成を念頭に、毎月10人以上の純増で1年に120人以上を続けられ、2020年代に兵庫2千目標を達成する可能性もてきます。そうならば、独自の事務所やいろいろな改善も可能です。

全国目標2万の同盟建設に大いに貢献できるとともに、会の目的達成と歴史の決着に大きな展望が開けてきます。

具体的には、支部が確立されているところは、年間目標と月間、特別期間目標を明確にし、役員は、その先頭にたち、力持ち会員と意思統一・連携して、対象者を明確にし、働きかけをすることです。そして1人以上、3人、5人、10人と拡大目標を登録し、挑戦しましょう。

支部の会員や支部が未確立地域の会員は、期間中1人以上の拡大目標にこだわり、毎月3人以上の対象者に働きかけましょう。働きかけは、決して無駄になりません。これまでの経験から次に生きるものです。

点検、推進体制をとり、お互いにメールや電話等でも情報交流をし、励まし合って、この特別期間を夢と希望をもって、なんとしても成功させましょう。

総会成功をめざす

「特別期間」(6月末まで)に

会員拡大の大きな前進を

第8回幹事会は4月7日開催されました。会議では「自民党闇金」「軍備輸出」「経済秘密保護法」などの情勢を話し合い、「再び戦争と暗黒政治を許さない」という同盟運動の基本からの運動の強化を誓い合いました。

方向性を確認し、全力をあげることを申しあわせました。

【会員拡大】

6月の全国大会、7月の県本部大会めざす「特別期間」の成功の中心課題は「会員拡大」です。幹事会では、会員現勢のマイナスを記録してしまった3月の活動を分析し、各支部での自主目標達成、対象者に呼びかける行動参加者を増やす活動などを、抜本的に強化することを話し合いました。こうした議論を反映して4月には14人が入会するという前進を勝ち取ることができました。

【署名運動】

署名は、中央や加古川の支部での団体訪問や東灘支部の「花見での署名」、灘支部の街頭宣伝行動、伊丹での会員への個別の訴えなど、本格的な活動が前進しました。5月15日の国会請願への支部代表派遣などの

【第3次上映運動】

映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」は6月16日

から30日の期間に集中して各地で上映会を企画します。現在までに9会場での計画がたてられています。5月には「統一ビラ」も完成する予定です。全県的においに宣伝し、組織建設にも生かしていきましょう。

【八鹿高校事件50年】

幹事会では1974年の「八鹿高校事件」を振り返り、戦前からつづく「特高官僚」による兵庫県政支配の中で引き起こされた「権力犯罪」であることを解明する活動をすすめることを確認しました。

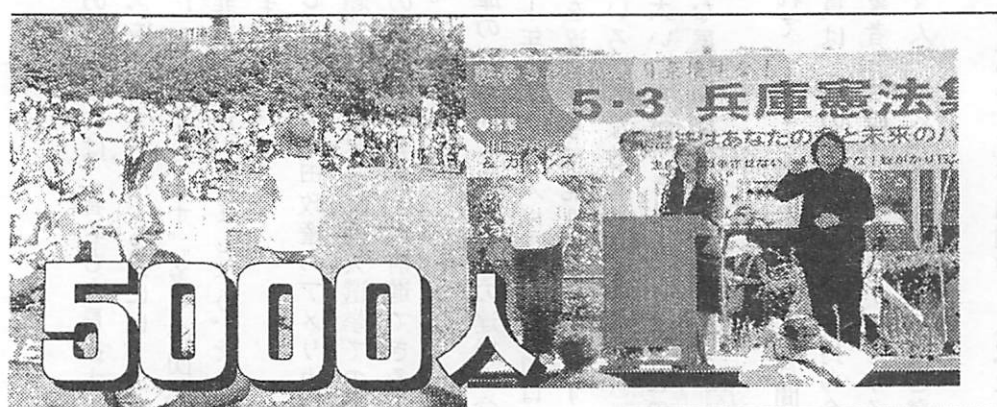
【その他】

- 第9回幹事会は5月12日(日)午後1時30分
- 5月1日のメーデー、5月3日の憲法集会での署名活動を申し合わせました。

兵庫県同盟・組織部会開催

5月3日、県同盟本部は「組織部会」を開催しました。3月

の組織現勢マイナスを受け、活動の総括、この間の入退会の傾向、「特別期間」の取り組みなどについて議論し、全国2万同盟、兵庫県1300人同盟建設への方向性を話し合いました。





ニツケ争議100周年—— 加古川で決起した人たち

加古川支部
学習会と
第19回総会

4月28日は、1924年に起こり、日本有数の軍服などのメーカーだった日本毛織加古川工場・印南工場労働者の決起と行動で勝利した、百年目の日です。加古川支部ではこれを記念して、神戸大学の吉川圭太先生

を講師に、学習会「日本毛織争議とその時代」を開催しました。その舞台となった、日本毛織が市街地の多くを占めていた土地は、今は大型店舗や病院に転用され、わずかに残ったレンガ工場跡が昨年のNHK連続ドラマ「ブギウギ」の撮影場所になりました。ニツケの経営は現在も繊維を中心に位置づけていますが、流通や不動産の売り上げが約半分にのぼっています。多角化しても古い経営体質は頭を出し、関連会社の労働者の雇止めや解雇などで労働事件が発生しています。今回の学習会には、ニツケ退職者の方々も聴講にいられました。地域での存在感が大きい企業の話だけに、参加者の半数近くが同盟員外で、会場入口のポスターを見て飛び込み参加した方もおられました。6千人規模と言われるデモを成功させたニツケの争議で、この日に労働組合「誠和会」が社長会見のもと承認され、労働者への補償を勝ち取りました。その後、労資協調路線を歩んだ誠

和会は、会社に支配されない労組らしい闘いを望む組合員と離反・対立し、戦闘的組合化への変化があるものの、会社・警察による激しい圧迫・切り崩しのもと、1927年7月に解散に追い込まれます。治安維持法の制定・統制強化を受け、多くの人々が経営側に屈服し、ますます困窮は深まっていきました。しかし、最後まであきらめなかった人々が、会社を追われながらも社会の革新を目指す活動家として育っていききました。戦前のニツケの争議に関する資料は大変少なく、それでも吉川先生の調査と分析で多くの経緯や構造が明らかになりました。同盟加古川支部も、探求を会員活動として進めていきます。

学習会のあと総会を行い、次期総会までの国賠署名活動と会員拡大の方針を決定し、6月29日の「わが青春つきるとも——伊藤千代子の生涯」加古川上映成功に向けての取り組み等を意思統一しました。



あの感動をもう一度…

わが青春つきるとも

— 伊藤千代子の生涯 —

映画「わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯」は、2022年以来、全国でも兵庫県でも上映会を開催してきました。「もう一度見たい」「前回、見られなかった」という方も、ぜひ一緒に、あの感動をもう一度。



第3次上映会

月日	曜	地域	会場	上映時間		定員	会場住所	担当
6月16日	日	西播	姫路労働会館	10:00	14:00	60	姫路市北条一丁目98番地	出田
6月20日	木	中央	まちづくり会館 (2Fホール)	10:00	14:00	約80	神戸市中央区元町通4丁目2-14	高山
6月21日	金	東灘	御影公会堂	10:00	14:00	400	神戸市東灘区御影石町4丁目4番	兵頭
6月22日	土	明石	魚住市民センター	10:00	14:00		明石市魚住町西岡500-1	青野
6月24日	月	西宮	市民会館(中ホール)	午後	夜	100	西宮市六湛寺町10-11	松尾
6月25日	火	灘	日本共産党 東灘・灘・中央地区委員会	10:30	14:00 18:00		神戸市灘区灘南通5丁目2-2	青柿
6月28日	金	尼崎	尼崎市女性センタートレピエ	14:00	—	80	尼崎市南武庫之荘3-36-1	真崎
		東灘	東灘区文化センター (9階多目的ホール)	—	18:00	90	神戸市東灘区住吉東町5丁目1-16	喜田
6月29日	土	加古川	東播磨生活創造センター「かこむ」(講座研修室)	13:30	18:00	90	加古川市加古川町寺家町天神木97-1	津高
6月30日	日	長田	兵庫文化センター(講習室)	午前	午後	72	神戸市兵庫区羽坂通4丁目1-1	喜田



伊藤千代子

入場料は ①1000円、②高校生以下・障がい者は無料

主演 井上百合子(新人) 窪塚俊介 竹下景子 金田明夫 石丸謙二郎 他

監督・製作 桂壮三郎 原作 藤田廣登「時代の証言者 伊藤千代子」(学習の友社・刊)

賛同団体 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 他

お問い合わせ・連絡先—治安維持法犠牲者国賠同盟兵庫県本部
〒650-0022 神戸市中央区元町通6丁目6-12 山本ビル 国民救援会内
(電話 078-351-0677) 担当・勝部 (090-8652-2502)

権力犯罪 1974年11月22日 八鹿高校事件

連載②
田中隆夫



片山正敏 最も凄惨なリンチを受け
瀕死の重傷をうける、入院 109 日。

事件は、社共分断で70年代の 民主連合政府阻止のため！

事件は何故起こされたのか！

部落問題研究所『鈴木良氏に聞く』

広川禎秀氏対談大要

部落問題研究所発行の『部落問題解決過程の研究』(2010年12月)で、鈴木良(元立命館大学教授。対談時は立命教授。2015年死去)氏と広川禎秀(大阪市立大学名誉教授。対談時は教授)氏が対談しています。

◇ ◇

鈴木 八鹿高校事件ですけど、あの事件について、共産党はいろんな論文を出していたし、そういうことはわかるんですけどね。では、それは本質的にはどういうことなのか、ということ、はね、あまりわからんです。それで、あの事件が起つ

てから後の兵庫県政の動きを考えると、独占資本が部落を利用し、支配しているからとか、固定的な見方ではいかんという話をしたんです。そして、それを杉之原寿一さんが聞きつけて、「君、そういう講演をしたそうだな」とすぐ怒られた。「いや、間違っていないですよ。事実そうになっているじゃないですか」といった感じで、この辺が、ある意味では伝統的な考え方に対する僕の批判的な立場の出発点でもあるんです。

広川 それは重要な話ですね。

鈴木 僕にとってはね。だけど、多くの人がそこを見なかったんじゃないですかね。そこを問わずに、それ

で井上清さんの影響力というのが非常に強かった。だけど、事態を正確に考えたら、そういうことじゃないか。こう思い始めたのがこの事件です。

広川 八鹿高校事件の前頃から、いろんなところで、解同朝田派の行動がエスカレートする。いろんな問題が重なってくる局面ともいえます。当時僕は大阪市大へ赴任して二年余りでしたが、大阪市大の中でも部落問題・同和問題が非常に熾烈な問題として、教職員にも、のしかかって居ましたからね。迷っていた人たちも、かなり問題の所在が見え始めた。そういう感じがあります。

鈴木 それはね、人間の認識というのは、やっぱり具体的で、大学でも、一人一人立たせて、「お前はどっちの立場に立つんだ」と糾弾された。その屈辱が多くの



人々にあり、それが、多くの人が部落問題研究所を支持してくれている根底にあるものらしい。僕は非常によくわかるんだけどね。そんな様々な体験があつて、それが極点に達したのが八鹿高校事件じゃないかと思ふんです。ただね、現在から見ますと、あれは社会的な大問題になりましたけど、一体何故起りどんな役割を果たしたか等というこの科学的説明は無かつたんじゃないか。部落問題研究

公判のたびごと、神戸地裁前にニセ左翼暴力集団がたむろし、ゲバ棒を振り上げて「ヤツシカ高校粉砕」などと叫んだ。写真中央で彼らに感謝を表明する主犯の丸尾。

というのは理論ですけれども、思想といえますか、とにかく連帯して困難な局面を越えていくという響きがみんなに感じ取られたんじゃないか。

鈴木 実際からいうと、大阪の黒田府政とか、美濃部都

国民融合論の果たした役割

広川 国民融合論

対談中記載の大森は、その後の調査の上で、現時点までの事件全体像を今年2月発行『紀要部落問題研究二四八号』に、新たな八鹿現地への調査等に基づき、『地域民主主義』の底流と八鹿高校事件―教師集団・生徒集団を中心に―を発表、併せて事件全体像、警察・刑事裁判が描く事件の構図も記載しています。同書は同盟県本部でも取

政、京都の民主府政とか、やがてそういうのがみんな崩れていったわけね。そうした方向へ、分裂が全面に出ていたわけですよ。そんななかで、どうしてそうなるんだっていうのはね、これは理論の問題じゃない、これは現実の変化が大きくて、その現れが色んな局面で出てきた。そこを、非常に正確にすくい取ったということでしょうね。(中略)

鈴木 なんて解放同盟は、あ

八鹿高校事件の歴史的な権力犯罪としての実態を明らかに

り扱っています。

鈴木良氏が対談で述べた八鹿高校事件が一体なぜ起り、どういう役割を果たしたかというこの説明、特に権力との関係はこの連載では、治安維持法犠牲者国賠同盟だからこそできる八鹿高校事件の歴史的な権力犯罪としての実態を明らかにするものです。

あいう八鹿高校事件みたいなことをやらざるをえないのか。それに対する反撃をどういうふうに組織していったのか、そういうことはとても大事な教訓を含んでいるように思いますね。

広川 そういうことからすれば、八鹿高校事件そのものも、もう少し広い動きから調べて行く必要がありますね。

◇ ◇

以上『部落問題解決過程の研究』より。